

京交山岳部報

例会・行先	日程・集合	担当者	コース
第2549回★★ 飯豊山縦走	7月3日(木) ～7日(月) 3日0:02 京都駅発 急行きたぐに集合	吉田 武	3日: 京都駅発-山都駅-川入「村杉荘」(泊まり) 4日: 川入…三国岳…種蒔山…切合小屋(泊まり) 5日: 切合小屋…飯豊本山…御西岳…大日岳往復…御西小屋(泊まり) 6日: 御西小屋…烏帽子岳…梅花皮小屋…石転び沢…温身平…飯豊山荘(泊まり) 7日: 飯豊山荘…小国駅…京都駅(20:09着)
備考 参加希望者は、担当者まで必ず連絡願います。 無人山小屋泊まり登山装備, 着替え, 嗜好品, 食料(3食×3日分)			
第2550回★★ 笛吹川東沢釜の沢遡行	7月25日(金) ～27日(日) 25日6:30 烏丸五条集合	吉田 武	25日: 京都南IC-勝沼IC-塩山市-大菩薩ライン-上日川峠-大菩薩ライン-福ちゃん荘…雷岩…大菩薩嶺…大菩薩峠…福ちゃん荘-塩山市-R140-東沢山荘テント(泊まり) 26日: 東沢山荘-二股吊橋-東沢入谷…山の神…両門の滝…水師沢分岐…甲武信小屋(泊まり) 27日: 甲武信小屋…三宝山往復…甲武信小屋…木賊山…近丸新道…徳ちゃん新道…東沢山荘-R

			140-甲府昭和 IC-京都東 IC
<p>備考 参加希望者は、担当者まで必ず連絡願います。</p> <p>装備 沢登り装備一式、食器、シュラフ</p> <p>食料 持参および現地調達</p> <p>費用 30,000円</p> <p>宿泊所 甲武信小屋 〒369-1901 埼玉県秩父市大滝3638-8 山中徳治 TEL 0494-55-0955, 携帯 090-3337-8947</p>			
<p>第2549回★ 奈良 三峰山 (一等本点 1,235.4m)</p>	<p>8月9日(土) 7:00 竹田駅西口</p>	<p>井戸 澄夫</p>	<p>竹田駅西口-R24-桜井-R 369-御杖村神末…三峰山往復 (帰路温泉入浴)</p>
<p>今月の集会</p> <p>日時 7月10日(木) 18:30~ 場所 ハウス竹田</p>		<p>企画運営委員会</p> <p>日時 7月23日(水) 18:30~ 場所 holly's café (ホリーズ カフェ)</p>	



今年の梅雨はジトジトと何日も降り続くのではなく、梅雨前線が活発に北上南下を繰り返すために、天候は日々めまぐるしく変化するようである。しかも、間の悪いことに週末ごとに雨天がやってきているようで、せっかくの休日であっても出歩く意欲は半減し、梅雨のいたずらにしかたなく付き合っている感がどうしても拭えない。沖縄は早くも梅雨明けしたようで、その宣言が一日でも早く北上してきてほしいと願うばかりである。

京都市内では7月に入ると梅雨のマイナスイメージを打ち破るかのごとく、にわかには祇園祭ムードが漂い始める。事実、あの祇園囃子の音色を耳にするととても心地よく、それだけで涼を得た気分させてくれる。そして祭りのクライマックス、山鉦巡行が終われば梅雨明けとなり、いよいよ夏山シーズンが到来する。

我が山岳部は、職域山岳会であり、職域の厚生会に登録している正式なサークルである。登録条件の一つでもある構成人員の減少から、大げさな表現かもしれないが、登録抹消の危機にさらされている。部員数減少を食い止め、逆転させることは肩に重くのしかかる永遠の課題である。

日本の社会人は長期休暇(夏休み)を取得するのは困難であるが、この夏も創意工夫し努力の積み重ねにより自分の時間を作ることは可能である。1山でも多くの頂に立ち、1本でも多くの沢に分け

入っていききたいものである。もちろん新規部員候補と思われし者を山に連れ出す努力も怠ってはいけない。
(2008.6.吉日 by MatsuKen)

【第2544回例会】

伊勢 堀坂山・観音岳

井戸 澄夫

堀坂山は白猪山・局ヶ岳と共に伊勢三山と呼ばれ、伊勢湾を航行する船の目印にされた山である。昨年の白猪山に続いて、今年は堀坂山と隣接する観音岳に登ることとした。2月に開通した新名神高速道路を利用すれば竹田駅西口から松阪ICまで、途中の土山SAでの休憩を含めて2時間であった。この便利さは三重県及び奈良県東部への行動半径を一段と広げてくれるものである。無駄な道路の議論が喧しいが、あればやはり便利である。

車2台のうち、1台を雲母谷林道入口に留置して、1台(ミニバン)に8人が乗って標高470mの堀坂峠の駐車場まで登った。堀坂峠からだ堀坂山へも観音岳へも労少なくして登れる。まず観音岳へ登ることにした。なだらかな登りで道も歩きやすい。白やピンクの山ツツジを愛でながら歩くと、45分で2等三角点(605.9)の観音岳に着いた。堀坂峠に戻り、今度は反対側の堀坂山に登るが、観音岳とは対照的に急登である。途中、大日如来像に2回出会って山頂に着く。堀坂大権現が祀られている。3等三角点(757.4)が鎮座している。天気は良いが、春霞がたなびき伊勢湾もかすんでいる。案内には、空気が澄んでいれば富士山も見えるとある。ここで初夏の陽射しを浴びながら昼食とした。下りは車1台を留置した雲母谷への道をとった。標高差が約600mある。急坂部もかなりあり、堀坂峠からの道に比べれば悪路である。雲母谷はその名のとおり、岩や土にきらきらした雲母の結晶が見られた。

帰路、国道23号沿いの天然温泉「スオミの湯」で汗を流し、土山ICで夕食を摂って帰京した。

【コースタイム】 5月17日(土)

7:00 竹田駅西口→(第2名神)→9:00 松阪IC→9:45 堀坂峠…10:30 観音岳…11:10 堀坂峠…12:10 堀坂山(昼食) 12:45…15:00 雲母谷林道入口→15:30 スオミの湯 16:30→16:50 久居IC→(第2名神)→17:20 土山SA(夕食) 17:50→(京滋バイパス)→18:50 竹田駅西口

【参加者】 森本清一、渡辺智生、方山宗子、岡田茂久、竹田 勉、和田良一、三橋 勉、井戸澄夫(8名)

【第2546回例会】

船の旅 九重連山 久住山

清水 康裕

船の旅は当初ミヤマキリシマ咲く霧島連山縦走のはずだった。ツアーの応募者が少なかつたため、急遽久住山に変更になった。竹田駅西口で岡田さんがマテウスロゼと人数分の果物ゼリーを差し入れてくださり見送ってくださった。

飛行機から開門岳や奄美大島を見たりしたことはあったが、僕は九州上陸が初めてだったので、別府港に向かう間心ワクワクしていた。フェリーに乗っている途中で雨が降ってきたので明日の登山は絶望的かと思っていたが、別府港に到着したときは雨が止んでいた。ツアー続行ということか。

疑問を少し抱きながらバスに乗り込むと間もなく発車した。道中由布岳が見えた。山頂はガスで見えなかったが麓はオールグリーンで鮮やかで流石に綺麗であった。湯布院の街もなかなか良さそうな景色に見えた。(いつか由布岳も行こう。)

牧ノ戸峠駐車場に到着した。小雨が降り出しそうだったので、カッパの上下を着て出発した。添乗員はジーパンをはいて登る。持ち物、洗濯物を最小限にしようとするのか。でも我々の先輩方はジーパンばきの登山は水を含むと大変重くなるし動き辛くなるので、遭難の大きな原因になるから意見してやろうと口々に言っておられた。そのとおりだ。名前を忘れたのでジーパン君と呼ぶことにしたい。後藤さんという地元のガイドがついてくれ、先頭で登ってくれたがペースがかなり速い。ジーパン君は殿りを行ってくれた。25分間登っているとミストサウナのような霧雨になってきた。景色は全く無い。避難小屋前の広場からは雨が弱まった。頂上に着くまでに雨が止んだので、渡辺さんと堀田さんが晴れ男パワーを発揮し、ツアー参加者の中の雨男たちにやっと打ち勝ったと思った。やはりガスで景色は無い。記念撮影後、すぐに下山しはじめた。避難小屋前の広場で昼食をとった。食べ終わるとすぐに雨がかなり強く降り出した。下山途中で韓国の方の十数人のパーティが3つほど対向した。井戸さんの奥さんが韓国通なので、挨拶をハングル語でしておられた。僕はいっぱいハングル語で返事が来るのを恐れたので日本語でしか挨拶できなかった。

山を下りたあと別府の「ひょうたん温泉」に入った。創業者が太閤秀吉を崇拝して戦前にひょうたん形の建物を建てた事が由来とされているが、よく分からないらしい。その建物は空襲の目標になると取り壊されたそうだ。湯が落ちる大きな滝が6～7本あって、身体を滝に打って修行？した。温泉のあとは、別府交通センターで買い物をした。別府交通センターを出発しすぐにフェリー乗り場へ到着したが、大相撲をやっていたので下車を待って皆でバスの取付テレビを見た。大関琴欧州が初優勝してバス中の拍手を集めた。

大阪南港への帰港の日、ジーパン君は大阪南港に到着するやいなや高野山に向かわなければならぬので船の中で別れの挨拶を交わした。ジーパン君は終始頼り無さそうな人だったが、まあまあ良くやってくれた。僕の初九州はたいへん値打ちあるものになった。カムサハムニ〜ダ!!

【参加者】井戸澄夫 F 1, 方山宗子, 堀田 剛, 渡辺智生, 清水康裕

【コースタイム】5月23日(金)

7:00 竹田駅西口-17:30 大阪南港駐車場...18:05 乗船フェリー サンフラワー (出港) 19:30

5月24日(土)

6:45 別府港下船-7:35 湯布院 IC-8:15 牧ノ戸峠駐車場1,330m 8:45...
10:25 避難小屋前広場...11:00 久住山山頂 一等三角点1,787m 11:15...
11:40 避難小屋前広場 昼食 12:10...13:30 牧ノ戸峠 14:00-15:35 別府「ひょうたん温泉」16:50-17:00 別府交通センター 17:35-18:00 乗船(出港)
18:50

5月25日(日)

6:30 下船...6:40 大阪南港駐車場-7:50 竹田駅西口

山の雑岳シリーズ

その4の2

吉田 武

日本名水百選 (昭文社「なるほど知図帳日本の山」より抜粋)

No.	名称	所在地	No.	名称	所在地
51	恵利原の水穴(天の岩戸)	三重県志摩市	76	湯船の水	香川県小豆島町
52	十王村の水	滋賀県彦根市	77	うちぬき	愛媛県西条市
53	泉神社湧水	滋賀県米原市	78	杖の淵	愛媛県松山市
54	伏見の御香水	京都市伏見区	79	観音水	愛媛県西予市
55	磯清水	京都府宮津市	80	四万十川	高知県西部
56	離宮の水	大阪府島本町	81	安徳水	高知県越知町
57	宮水	兵庫県西宮市	82	清水湧水	福岡県うきは市
58	布引溪流	兵庫県神戸市	83	不老水	福岡県福岡市
59	千種川	兵庫県穴栗市	84	龍門の清水	佐賀県有田市
60	洞川湧水群	奈良県天川村	85	清水川	佐賀県小城市
61	野中の清水	和歌山県田辺市	86	島原湧水群	長崎県島原市
62	紀三井寺の三井水	和歌山県和歌山市	87	轟溪流	長崎県諫早市
63	天の真名井	鳥取県米子市	88	轟水源	熊本県宇土市
64	天川の水	島根県海士町	89	白川水源	熊本県南阿蘇村
65	檀鏡の滝湧水	島根県隠岐の島町	90	菊池水源	熊本県菊池市
66	塩釜の冷泉	岡山県真庭市	91	池山水源	熊本県産山村
67	雄町の冷泉	岡山県岡山市	92	男池湧水群	大分県由布市
68	岩井	岡山県鏡野町	93	竹田湧水群	大分県竹田市
69	大田川(中流域)	広島県広島市	94	白山川	大分県豊後大野市
70	出合清水	広島県府中市	95	出の山湧水	宮崎県小林市
71	別府弁天池湧水	山口県美祿市	96	綾川湧水群	宮崎県綾町
72	桜井戸	山口県岩国市	97	屋久島宮之浦岳流水	鹿児島県屋久島町
73	寂地川	山口県岩国市	98	霧島山麓丸池湧水	鹿児島県湧水町
74	江川の湧水	徳島県吉野川市	99	清水の湧水	鹿児島県川辺町
75	剣山御神水	徳島県三好市	100	垣花樋川	沖縄県南城市

例会報告

例会No.	目的地	月日	天候	担当者	参加者	記事
2544	伊勢三山 堀坂山	5月17日	晴	井戸 澄夫	岡田 茂久 方山 宗子 竹田 勉 三橋 勉 森本 清一 渡辺 智生 和田 良一	(別稿詳報)
2546	船の旅 ミヤマキリシマ咲く 霧島連山縦走	5月23日 ~25日	強雨	井戸 澄夫	方山 宗子 清水 康裕 堀田 剛 渡辺 智生 井戸 F 1	目的地を九重連山 「久住山」に変更 しました。
2547	岳連平成20年度 一斉清掃登山 天王山	6月1日	晴	岡田 茂久	清水 康裕 堀田 剛 渡辺 智生	(次号報告)
2548	三十三間山	6月14日	晴	井戸 澄夫	岡田 茂久 清水 康裕 竹田 勉 森本 清一 山元 誠一 渡辺 智生 和田 良一	(次号報告)

雑 報

△△△ 6月の集会

日 時 6月12日(木) 18:30~
場 所 holly's café (ホリーズ カフェ 烏丸四条西入ル)
出席者 大槻, 岡田, 坂井, 清水, 三橋, 吉田, 渡辺, 和田 以上8名
内 容 例会報告, 例会予告, 個人山行, 岳連関係報告, 60周年記念事業ほか

△△△ 5月の企画運営委員会

日 時 5月20日(火) 18:30~
場 所 holly's café (ホリーズカフェ 烏丸四条西入ル)

出席者 清水, 井戸, 方山 以上3名
内容 例会予告, 岳連関係報告, 60周年記念事業ほか

△△△ 他山岳会の会報 (受贈分)

6月号 京都山岳, 趣味の登山, 山友, わっぱ
7月号 一等三角点, 木雞, 趣味の登山, 山友

△△△ 平成20年度部費徴収のお知らせ

平成20年度の部費を徴収します。年額6,000円 (郵送の方は7,500円) です。企画委員が会計担当までお届け下さい。

△△△ 平成20年度部費受領者について

6月20日現在, 前号までに掲載しました部費受領者に加えて, 次の方々から平成20年度会費を受領しましたので報告します。

(敬称略) 井戸 澄夫, 大槻 雅弘, 澤井 佳三, 清水 康裕, 竹田 勉, 津田 實,
廣瀬光太郎, 森本 清一, 吉田 武, 和田 良一, 堀田 剛

△△△ 過去の記念品の残りについて

50周年記念品のランタン及び55周年のヘッドランプの残りが約10個ずつあります。
次回の集会 (7月10日 於ハウス竹田) で希望される方に配布しますので是非とも参加してください。

部 員 名 簿

平成20年7月1日現在

○ B

中 村 維 源 渡 辺 智 生 大 槻 雅 弘
山 村 敏 郎 古 市 昌 造 大 倉 寛 治 郎
石 田 和 男 木 原 滋 吉 田 武
山 下 周 道 三 橋 勉 岡 本 勇
坂 井 久 光 岡 田 茂 久 方 山 宗 子
河 村 清 台 川 敦 美 篠 田 勝 美
津 田 實 花 岡 弘 武 清 水 明
笈 田 昭 澤 井 佳 三 井 戸 澄 夫
森 本 清 一 和 田 良 一 佐 々 木 敏 雄
坂 田 利 春 国 友 修 田 村 正 弘
荒 田 又 之 助 小 森 浩 山 元 誠 一
中 山 忠 之 山 田 富 男
鷺 見 壽 末 子 木 下 嘉 造
石 川 か ず 榮 江 草 哲 史

交通局

竹 村 芳 廣 松 田 誠 二
岡 本 義 弘 清 水 康 裕
大 杉 雅 晴 大 野 滋 久
桂 豊 山 下 幸 宏
岡 本 孝 夫 松 浦 健 一
井 上 一 夫 井 上 恭 彦
角 田 敏 昭
山 口 雅 直
山 岡 昭 弘 廣 瀬 光 太 郎
今 道 力 竹 田 勉
足 立 公 弘 上 村 次 男
西 尾 直 樹
堀 田 剛
室 谷 和 彦

市役所